

2020年度

事業報告

自：2020年4月 1日

至：2021年3月31日

公益財団法人 京都技術科学センター

2020年度事業報告

I 公益目的事業1（研究助成事業）

技術立国日本を支える科学技術の振興を図るため、若手研究者が行う研究開発に必要な経費を助成するとともに、次年度の助成対象者を募集し、選考した。

1 2020年度研究開発助成金の交付

2019年度第2回定時理事会で決定した研究開発助成テーマについて、研究開発に必要な経費を助成した。

- (1) 名 称 2020年度研究開発助成金
- (2) 研究開発分野 ものづくりに資する基礎的・応用的研究であって、次の分野に属するもの
・材料技術・機械技術・電気電子技術
- (3) 助成テーマ 13テーマ（一覧表は下記のとおり：応募54テーマ）
- (4) 助成金総額 1,300万円
- (5) 研究期間 2020年4月から2021年3月まで 1年間
- (6) 研究成果 「研究助成成果報告書」のとおり

2020年度研究開発助成テーマ等一覧表

No.	研究開発助成テーマ	助成金交付対象者			助成額 (万円)
		所 属	役職等	氏 名	
1	水酸基を起点とした直截的分子変換を指向する着脱容易な新規配向基の開発と機能性パイ共役分子創製への展開	大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻	准教授 博士(工学)	平野 康次	100
2	低遅延・省電力な次世代光ネットワークのための光集積型全光信号処理デバイスの研究	大阪大学大学院工学研究科電気電子情報通信工学専攻	准教授 博士(工学)	三科 健	100
3	3次元ランダム粗さを有する壁面の革新的な流動抵抗予測に向けた実験的研究	大阪府立大学大学院工学研究科機械系専攻	助教 博士(工学)	桑田 祐丞	100
4	反射の連鎖による即時即応の走行ロボット制御法	大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻	助教 博士(工学)	増田 容一	100
5	タンパク質局所濃度の絶対定量を可能とする可塑性タンパク質固定化基材の開発	同志社大学生命医科学部医情報学科	助教 博士(工学)	中村 祐士	100
6	有機磁性体の量子効果を利用した次世代型の超熱輸送材料の探索	大阪大学大学院理学研究科附属先端強磁場科学研究センター	特任研究員 博士(理学)	岩崎 義己	100

7	近赤外光によるがん治療と診断を可能にするヒドロゲル微粒子の創製とその悪性脳腫瘍治療への応用	広島大学大学院先進理工系科学研究科応用化学プログラム	助教 博士(工学)	河崎 陸	100
8	非ケクレ型メソイオン共役系を有するジアザペンタレンの創製と機能探索	京都大学大学院工学研究科合成・生物化学専攻	助教 博士(理学)	清水 大貴	100
9	高重合度ポリ(ビニルボロン酸エステル)の合成を可能とするモノマー分子設計開拓	京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻	助教 博士(工学)	西川 剛	100
10	発光性希土類錯体の集積化を利用した界面デザインと高機能センシング材料開発	大阪市立大学大学院理科学研究科物質分子系専攻	講師 博士(理学)	三枝 栄子	100
11	ホスフィンドリジンを基盤とする含リン三次元 π 共役化合物の創製	大阪府立大学大学院理学系研究科分子科学専攻	助教 博士(理学)	津留崎陽大	100
12	キラルなエキシマー形成を基盤とする高密度円偏光発光色素の開発	岡山大学大学院自然科学研究科応用化学専攻	准教授 博士(薬学)	高石 和人	100
13	アルミ合金における音響学的相平衡状態図創成の試み：合金相変化の音速マッピング	富山高等専門学校商船学科	准教授 博士(工学)	経田 僚昭	100

2 2021年度研究開発助成対象者の募集及び選考

2021年度の助成対象者を募集し、研究助成選考委員会で選考の上、2020年度第2回定時理事会において決定した。

- (1) 助成対象者 北陸地方から中・四国地方までの地域にある理工学系の大学等に在籍する40歳未満の研究者
- (2) 研究開発分野 ものづくりに資する基礎的・応用的研究であって、材料、機械、電気電子の各技術分野に属するもの
- (3) 募集期間 2020年11月2日から2021年1月18日まで
- (4) 応募者数 42人
- (5) 助成対象者数 13人
- (6) 助成金総額 1,300万円
- (7) 研究助成選考委員会の開催状況

開催年月日	議 題
2021年2月20日	1 2021年度研究開発助成候補者の選考について 2 その他

II 公益目的事業2（人材育成事業）

科学技術の振興を担う人材を育成する事業を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、事業の特性に応じた感染防止対策を講じた。

1 技術セミナー

(1) ものづくり先端技術セミナー

ものづくり技術開発の高度化を促進することを目的に、先端技術シーズや研究開発の最前線の状況を紹介するセミナーを開催した。

なお、年4回開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行のため、10月以降3回の開催となった。

ア 名称 2020年度ものづくり先端技術セミナー

イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター

ウ 場所 京都府産業支援センター5階 研修室

エ 受講料 無料

オ 内容

	開催日・テーマ等	
第1回	日時 テーマ 講師 参加者	2020年10月30日（金） 14:00～16:30 「燃料電池発電システムにおける固体触媒材料」 徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 理工学域応用化学系 助教 霜田 直宏 氏 16人
第2回	日時 テーマ 講師 参加者	2020年11月20日（金） 14:00～16:30 「高分子材料のトライボロジー～基礎から最近の研究事例まで～」 豊橋技術科学大学 機械工学系 准教授 竹市 嘉紀 氏 22人
第3回	日時 テーマ 講師 方法 参加者	2021年2月24日（水） 14:00～16:30 「マルチマテリアル化に向けての接合技術～金属と樹脂・CFRPの異種材料接合とその機構～」 大阪大学名誉教授 大阪大学接合科学研究所招聘教授 中田 一博 氏 Webセミナー方式で実施 53人

(2) マイクロ波・ミリ波セミナー

マイクロ波・ミリ波に関連した基礎知識や技術、製品の評価手法の向上を図ることを目的にセミナーを開催した。

ア 名称 2020年度マイクロ波・ミリ波セミナー

イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター

ウ 場所 京都府産業支援センター5階 研修室

エ 受講料 無料

オ 内容

	開催日・テーマ等	
第1回	日時 2020年9月24日(木) 15:00~17:00 テーマ 「マイクロ波システムを支える最新デバイス開発の現状 ～スマートフォンから無線給電まで～」 講師 龍谷大学先端理工学部電子情報通信課程 教授 石崎 俊雄 氏 参加者 39人	
第2回	日時 2021年2月26日(金) 13:30~16:30 テーマ 「電磁界シミュレーションおよびマイクロ波・ミリ波帯アンテナ設計の 基礎」 講師 東京都市大学 理工学部 電気電子通信工学科 准教授 平野 拓一氏 方法 Webセミナー方式で実施 参加者 22人	
第3回	日時 2021年3月18日(木) 13:30~16:30 テーマ 「マイクロ波計算機トモグラフィの医療・産業応用」 講師 関西大学システム理工学部 物理・応用物理学科 准教授 山口 聡一朗 氏 方法 Webセミナー方式と会場方式の併用で実施 参加者 11人	

2 技術研究会

(1) 機械設計・計測技術研究会

設計技術者等を対象に、機械設計・製図に必要な基礎知識から機械部品等の形状評価を行う計測技術まで学ぶ研究会を開催した。

なお、例会を年6回開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行のため、9月以降4回の開催となった。

- ア 名称 機械設計・計測技術研究会
- イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
- ウ 場所 京都府中小企業技術センター
- エ 参加者 関連企業の技術者(7人)
- オ 会費 年額5,000円/人
- カ 内容

例会	日時	内容
第1回	9月8日(火)	内容:「寸法公差の基本と使い方」 講師:株式会社ラブノーツ シニアコンサルタント 竹之内徹 氏
第2回	10月20日(火)	内容:「形状設計テクニック」 講師:人材技術教育研究所 代表 益田 憲明 氏
第3回	11月25日(水)	内容:「幾何公差について」 講師:QVIジャパン株式会社 研究開発部長 林 正弘氏
第4回	12月8日(火) 及び10日(木)	内容:「代表的な精密計測機器の概論、実習(実演)」 (CNC三次元測定機、表面粗さ測定機等) 講師:京都府中小企業技術センター 基盤技術課 設計計測係 職員

※開催時間は、いずれも10:00~17:00

(2) ものづくり分析評価技術研究会

京都府中小企業技術センターが保有する高度分析装置に関して、最新動向から高度な活用法までを学ぶ研究会を開催した。

2020年度は、薬品・食品・化粧品・プラスチック・工業材料・原材料などの定性・定量分析や品質管理、評価技術として近年注目されている「近赤外分光法」をテーマに開催した。

なお、例会を年4回開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行のため、10月以降3回の開催となった。

- ア 名称 ものづくり分析評価技術研究会
イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
ウ 場所 京都府中小企業技術センター
エ 参加者 関連企業の技術者（9社・14人）
オ 会費 年額5,000円/人
カ 内容

例会	日時	内容
第1回	10月20日(火)	内容：「近赤外分光法（入門編）」 講師：関西学院大学名誉教授・フェロー 尾崎 幸洋 氏
第2回	11月17日(火)	内容：「近赤外分光の基礎と応用」 講師：関西学院大学名誉教授・フェロー 尾崎 幸洋 氏 近畿大学大学院総合理工学研究科准教授 森澤 勇介 氏
第3回	12月15日(火)	内容：「近赤外のスペクトル解析」 講師：関西学院大学名誉教授・フェロー 尾崎 幸洋 氏 大阪電気通信大学工学部教授 森田 成昭 氏

※開催時間は、いずれも13:00~17:00

(3) 品質工学研究会

関西品質工学研究会との共催で「品質工学シンポジウム2020 in こうべ」を2020年10月2日に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行のため中止した。

3 テクノアイデアコンテスト

将来の産業・科学技術の発展を担うベンチャー精神に富んだ起業家や柔軟でユニークな発想を持つ研究者を育成するため、科学技術やものづくりへの関心を高める取組の一環として、高校生や大学生等を対象に、技術に関する独創的なアイデアを募集し、書類審査の通過者を対象にコンテスト(最終審査)を行い、優れたアイデアを表彰した。

(1) 主催等

- ア 名称 テクノ愛2020
イ 主催 テクノ愛実行委員会
ウ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都大学産官学連携本部

- エ 後 援 文部科学省、近畿経済産業局、京都府教育委員会、京都市教育委員会、NHK京都放送局、国立研究開発法人科学技術振興機構、日本ベンチャー学会、関西ベンチャー学会
- オ 協 賛 大阪大学共創機構、神戸大学産官学連携本部、京都工芸繊維大学産学公連携推進センター、大阪電気通信大学、関西サイエンス・フォーラム
- カ 協 力 京都大学生生活協同組合

(2) 募集等

- ア 募集対象 高校の部：高校生、高等専門学校1～3年生
大学の部：大学生、大学院生、高等専門学校4・5年生、専攻科生等
- イ 募集期間 2020年6月1日～2020年9月9日
- ウ 応募状況 高校の部 32校・287件（学校所在地：青森県～熊本県の21都府県）
大学の部 22校・57件（学校所在地：北海道～岡山県の13道府県）

(3) 書類審査

- ア 選考委員による書類審査で、最終審査に進む高校の部10テーマ、大学の部9テーマを選考
- イ 上記以外のテーマのうち、書類審査で健闘したと認められた高校の部21テーマ、大学の部11テーマに対し、選考委員会の審査で健闘賞を授与することを決定

(4) 最終審査

書類審査で選考された19テーマについて、新型コロナウイルス感染症が流行している状況を踏まえ、従来、京都大学で実施してきたコンテストに代えて、発表者からアイデアについてパワーポイントで説明するプレゼンテーションDVDを提出してもらい、選考委員がこれを基にユニーク度、成熟度、実用性、アピール度の各観点から審査し、グランプリ、準グランプリ、優秀賞、奨励賞及びテクノ愛賞を決定

テクノ愛2020入賞テーマ等一覧表

<高校の部>

賞名	テーマ	学校名	氏名
グランプリ	機能性園芸ブロック	青森県立名久井農業高等学校	中堤 康仁 松橋 大希 宮木 琢愛 田村 侑晟
準グランプリ	気体の分子量測定法	仁川学院高等学校	尾形ララ
優秀賞	廃棄物起点から PM2.5 を吸着する材料を創製する	米子工業高等専門学校	塚口 湧太 田山 凌汰 壺内 健太郎
奨励賞	金コロイド染色	仁川学院高等学校	川村ヒカル
	石こうキャピラリーバリア	青森県立名久井農業高等学校	寺沢 ゆき 中居 泉穂
	シロアリの腸内微生物を用いたバイオエタノールの生成	名城大学附属高等学校	山内 瑞晃
	自宅で作れる！抗菌効果の期待できるリングゴ皮石鹸	新潟県立新潟南高等学校	名畑 駿都 石本 麻奈 佐野 恵梨佳

奨励賞	くるりん・パッ！！M.ver/S.ver	愛知県立豊川工業高校	秋山 翔海 西尾 幸太郎
	バクテリアセルロースを用いたストローの開発と評価 ～福島の伝統産業から世界のプラスチックごみ削減へ～	福島県立福島高等学校	和田 晴人 小椋 蒼士 佐藤 真里佳 吉田 橘平
	振動による発芽促進	奈良県立磯城野高等学校	森川 桃歌 蒲澤 侑 岩崎 靖弥 岡田 亜紀香 小田 紗藍 川崎 翔 木村 愛美 信田 ころろ 尾崎 正法

備考 奨励賞は、応募順

<大学の部>

賞名	テーマ	学校名	氏名
グランプリ	未利用木質バイオマスを活用した動物タンパク質の生産	千葉大学大学院	浅野 風斗
準グランプリ	空気のでやさしく動かす足関節リハビリ運動装置	大阪工業大学大学院	岡本 宙
優秀賞	人工衛星用自動展開式ソーラーパネルの考察	公立千歳科学技術大学	皆勝 亮汰
奨励賞	バイオセメント Fe を用いたブルーカーボン創出の挑戦	和歌山工業高等専門学校	中嶋 夢生 園部 琢巳
	WatER Pillow(ウォーターピロー)	神戸市立工業高等専門学校	後藤 匠 満永 琴乃
	立ち上がりテストを簡易化するシステム part2	福井大学大学院	小野 蓮太郎 中根 滉稀
	生活情報に連動するインテリア照明	神奈川工科大学	佐野 芳樹 鬢櫛 理子 久江 健太 一色 正男
	手洗い技能の定量的評価システムの開発	富山県立大学大学院	長野 孝亮 佐藤 祐一 羽場 太一 伊藤 真由 藤森 健
大阪湾を豊かにするための石仏鉱泉の活用法	近畿大学	清水 大河	

備考 奨励賞は、応募順

<テクノ愛賞>

賞名	テーマ	学校名	氏名
テクノ愛賞	シロアリの腸内微生物を用いたバイオエタノールの生成	名城大学附属高等学校	山内 瑞晃

健闘賞受賞テーマ等一覧表

<高校の部>

賞名	テーマ	学校名	氏名
健闘賞	スライドパズルの円順列解析 -解けないパズルの証明-	茨城県立水戸第二高等学校	倉塚 凜々子 沼田 実優
	醤油粕を酸化触媒に利用した使い捨てカイロの開発	岐阜県立岐阜農林高等学校	山田 暖斗 伊藤 綺音 木村 友哉 熊崎 一 廣瀬 智
	ビー玉を用いて原子核衝突を再現できる物理教育ツール	香川高等専門学校	詫間 千耀 土井 彩乃
	ブレスレット型発信機	大阪府立茨木西高等学校	椿原 りょう
	竹ッボトル～プラスチックを減らそう～	広島県立広島国泰寺高等学校	瀬土 琴美 田堂 日那太 傳明地 颯太 中村 はるこ
	ナマコのキュビエを活用した沖縄の海丸ごと保全の挑戦	和歌山工業高等専門学校	儀間 瑞季
	命を救うカーナビ～患者さんをもっと早く～	松江工業高等専門学校	安部 克海
	ルミノール反応を用いた大根の鮮度測定	大阪府立四条畷高等学校	東坂 音羽 大角 万里奈 高橋 ひなた
	プルタブを開けやすくするための考察	大阪府立城東工科高等学校	山並 俊太
	ラッシュ時の列車混雑を軽減させる駅ホーム照明システム	福岡県立城南高等学校	力久 颯太
	クリーンなエネルギーはその一歩から	神戸市立工業高等専門学校	中島 悠花
	自動車と免許証の連携システムの提案	宮城県立仙台第一高等学校	井元 日向子
	ライブを盛り上げるペンライトの開発	山口県立徳山高等学校	平良 隼涼 北川 創大 久行 輝 新村 翼 齊藤 景 富重 亮佑 安東 稜都 野見山 真 有福 遼太郎
	ポリグルタミン酸を用いた水質浄化剤による流出重油回収システムの開発・研究	追手門学院大手前高等学校	倉富 星衣 恵川 陽都 伊藤 悠之助 帖佐 遥夢
	音でお知らせ、視覚障害者誘導ブロック好きな角度に切れる分度器付きハサミ	愛媛県立松山南高等学校 岡山県立玉島高等学校	楠岡 菜月 岡部 陽記

健闘賞	Magical Senbei (マジカル せんべい) ～受け継がれた技術と素材を生かした非常食づくり～	熊本県立熊本北高等学校	沖川 洸大 河添 匠佑 芳津 竜彩 谷川 うらら 赤田 枝利佳 後藤 彩那 星川 姫梨 渡辺 奏耶
	RFIDを用いた忘れ物対策	大阪府立高津高等学校	山澤 一颯 中西 翔哉
	手にやさしいボタン	新居浜工業高等専門学校	宇田 佳乃
	店に入らずとも商品の在庫や品揃えがわかるシステム	大阪府立茨木工科高等学校	佐々木 和
	眠気防止！震えるマット	京都市立京都工学院高等学校	山田 椋一 森田 透

<大学の部>

賞名	テーマ	学校名	氏名
健闘賞	衛生的なトイレトーパーホルダー “といれっとパーだる”	長岡技術科学大学大学院	藤田 鈴香
	CHAT PROJECT ～障がい児用電動台車～	愛知県立愛知総合工科高等学校 専攻科	城 貴之 山口 真生 中野 孝道
	大学の研究活動を円滑に進め、コロナ時代のタッチポイントを増やし疎外感を解消する進捗・ニュアンス共有ツール「UniFrame」	京都大学大学院	関 崇浩 平林 昌樹
	安心センサー給湯器システム	武庫川女子大学	矢谷 和香
	作業中の移動ロボットによる農作物のデータ収集・管理	慶應義塾大学大学院	本蔵 紅奈
	3SSmoothie ～規格外野菜で朝食欠乏を改善するスムージーの提案～	京都工芸繊維大学大学院	岡本 晋 家村 綾乃 守谷 珠丹 三浦 翔 李 珍
	保とう距離！守ろう愛！	津山工業高等専門学校専攻科	神田 亜麻音 重定 美咲 太田 陸斗 木村 照男 高橋 龍輝
	家族安心！見守り君	名古屋工業大学	永田 浩矢 種村 友宏
	Shopping Support Navigation	湘南工科大学	諸星 瑛士
	人のための改札	大阪電気通信大学	村山 大輔 為岡 優斗 本井 泰成
	深層学習を用いた乳幼児の事故防止システム	大阪経済大学	上田 実穂 小野 祥大 菰渕 賢吾 寺田 隆希 松本 凌斗 宮野 創

(5) 委員会開催状況

ア テクノ愛実行委員会

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 2020年8月7日	(書面会議)	1 実行委員会委員長の選任について 2 テクノ愛2020最終審査の実施方法について 3 テクノ愛2020実施要領について
第2回 2021年3月10日	(書面会議)	1 「テクノ愛2021」の実施方法等について

イ テクノ愛選考委員会

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 2020年9月10日 ～10月14日	(書類審査)	1 テクノ愛2020書類審査について
第2回 2020年11月13日 ～11月25日	(DVD審査)	1 テクノ愛2020最終審査について
第3回 2020年12月1日	(書面会議)	1 テクノ愛2020入賞者の選考について 2 テクノ愛2020健闘賞の選考について

4 科学館・技術館訪問研修

毎年、夏休み期間に中学生及び高校生を対象に、高い技術力を誇る企業等を訪問し、科学技術のすばらしさや研究開発の楽しさ、おもしろさを学び、体験する研修会を開催しているが、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の流行のため、開催を中止した。

5 おもしろサイエンス

小学生に、科学実験・工作イベントを通じて学び・知り・作ることの喜び、楽しさを体験させ、科学への関心や理解を深めるため、2020年度は、8月及び12月にリニアモーターカーの解説と作製をプログラムとする実験教室を開催する計画であった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行のため、8月は参加者を募集することなく中止し、12月は参加者数を絞って午前の部・午後の部各10人ずつ募集し、合計58人から応募があったが、感染拡大リスクを考慮して直前に中止した。

6 科学技術情報等提供

ホームページ（HP）を活用し、当センターが実施する事業に関する情報を提供し、応募者や参加者の拡大を図った。また、研究開発助成テーマ、テクノアイデアコンテストの入賞アイデア、おもしろサイエンスのプログラム等を掲載し、啓発に努めた。

その他、当センターの沿革・概要、事業計画・事業報告、収支予算・決算状況をHPに掲載した。

Ⅲ 収益事業

本法人が所有する建物・土地を事務室、研究室、倉庫、収納庫及び駐車場として賃貸するとともに、会議室を貸し出し、その収益を公益目的事業の実施に活用した。

1 施設の賃貸

(1) 利用者増加の取組

貸室の空き情報を、当センターのHPで広報するとともに、不動産仲介業者のHPに掲載してもらった。併せて、施設の環境改善を行った。

- ・地階西側エリア貸室の改修
- ・1階東側女子トイレの改修
- ・貸室の改修・修繕（内装、照明、エアコン、電気設備等）

(2) 利用状況（ア～ウは、2021年3月31日現在）

ア 事務室・研究室・倉庫の利用者数	38団体	（2019年度	38団体）
イ 収納庫使用室数	17室	（同	17室）
ウ 駐車場使用台数	43台	（同	41台）
エ 会議室利用件数	51件	（同	82件）

2 建物・設備等の管理

(1) 主な改修・修繕工事

ア 本館地階B5号室等の改修工事

長年空室であったB5号室等の地階西側ゾーンについて、事務室2室、倉庫1室及び廊下に区分し、床、壁、天井等を改修するとともに、エアコン(2台)・照明器具その他の電気設備を更新する工事を2020年11月～2021年1月に実施した。

(設備投資4,972,800円 大規模修繕費2,883,500円 合計7,856,300円)

イ 本館1階東側女子トイレの改修工事

トイレの計画的改修の一環として、本館1階東側女子トイレの改修工事を2020年9月に実施した。これにより本館建物内にあるトイレ(5箇所)の改修を全て完了した。

(設備投資4,983,000円 大規模修繕費517,000円 合計5,500,000円)

ウ 本館1階6号室及び7号室の改修工事

公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団の入居に伴い、本館1階6号室及び7号室の床、壁、エアコン、照明等の改修工事を2020年9月に実施した。

(設備投資829,800円 大規模修繕費110,000円 修繕費1,023,770円 合計1,963,570円)

エ エアコン更新工事

本館1階2号室の老朽化したエアコン2台を更新する工事を2020年8月に実施した。

(設備投資488,400円 大規模修繕費107,800円 合計596,200円)

オ 照明器具更新工事

2号室、5号室、C会議室等の老朽化した照明器具を更新する工事を2020年7月及び9月に実施した。

(設備投資309,100円 修繕費86,900円 合計396,000円)

カ 案内表示銘板更新工事

「近畿地方発明センター」となっていた2箇所の案内表示銘板の更新工事を2020年11月に実施した。
(大規模修繕費 253,000 円)

(2) その他の改修・修繕工事

ア 改修工事（設備投資）

本館地階B29-1号室電力量計取付工事 (367,400 円)

イ 修繕工事

- ・ブラインド修繕 (2件、109,800 円)
- ・エアコン修繕 (2件、66,000 円)
- ・消防用設備修繕 (2件、57,200 円)
- ・ドア修繕 (51,040 円)

(3) 保守管理

トイレ・床清掃等の日常的な保守管理のほか、次の特別作業等を行った。

- ・地階B5-1号室の床の剥離清掃 (39,600 円)
- ・地階B29号室及びB29-1号室の床等清掃 (72,930 円)
- ・PCB含有蛍光灯用安定器の処分 (215,600 円)

蛍光灯用安定器2台にPCBが使用されていることが判明したため、2020年7月に、京都市に届出を行うとともに、中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）に処理を依頼した。

IV センターの運営

1 センターの概要（2021年3月31日現在）

設 立	1942年12月28日	財団法人京都技術科学館として設立
	1960年12月27日	財団法人近畿地方発明センターに改組
	2012年 4月 1日	公益財団法人京都技術科学センターに改組
評議員	12名	
役 員	14名（理事12名 監事2名）	
委 員	研究助成選考委員会委員	6名
	テクノ愛実行委員会委員	8名
	同 選考委員会委員	14名
事務局	常務理事兼事務局長1名、参事2名	

2 理事会の開催状況

開 催	議 題	備考
2020年度 第1回定時理事会 2020年5月20日	I 決議事項 1 2019年度事業報告の承認の件 2 2019年度決算の承認の件 3 2020年度定時評議員会の招集の件 II 報告事項 1 業務実績について 2 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う2020年度 公益目的事業の見直しについて 3 建物賃貸借契約者の異動状況について	決議の省略 報告の省略
2020年度 第1回臨時理事会 2020年6月19日	I 決議事項 1 理事長、副理事長及び常務理事の選定の件 2 顧問の委嘱の件 3 常務理事退職慰労金の承認の件	決議の省略
2020年度 第2回臨時理事会 2020年9月30日	I 決議事項 1 研究開発助成規程の一部改正の件	決議の省略
2020年度 第2回定時理事会 2021年3月23日	I 決議事項 1 2021年度事業計画書の承認の件 2 2021年度収支予算書並びに資金調達及び設備投資 の見込みを記載した書類の承認の件 3 2021年度研究開発助成対象者等の決定の件 II 報告事項 1 2020年度事業の実施状況について 2 建物賃貸借契約者の異動状況について 3 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告につい て	

3 評議員会の開催状況

開催	議題	備考
2020年度 定時評議員会 2020年6月11日	<p>I 決議事項</p> <ol style="list-style-type: none">1 評議員の選任の件2 役員を選任の件3 2019年度決算の承認の件4 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する基準規程の一部改正の件 <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none">1 業務実績について2 2019年度事業報告について3 内閣府による立入検査の結果について4 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う2020年度事業の見直しについて5 建物賃貸借契約者の異動状況について	決議の省略 報告の省略

4 監事監査

開催	内容	備考
2020年5月15日	2019年度事業報告及び決算の監査	

事業報告の附属明細書

定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する2020年度事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。